

2022 年度 自己評価結果公表シート

鴨島中央認定こども園

1. 本園の教育・保育目標

<p><教育・保育目標></p> <ul style="list-style-type: none">・明るく元気で基本的な生活習慣を身につけたこども・よく見る目、よく聞く耳、よく働く手足を使って、自分で考え、豊かな感性をもって自己表現できるこども・友達と楽しく遊ぶとともに、思いやりのあるこども <p><教育・保育方針></p> <ul style="list-style-type: none">・一人一人を大切にする教育・保育・遊びを大切にする教育・保育・目に見えないものを大切にする教育・保育・地域のすべての子どものために
--

2. 2022 年度の評価項目

<ol style="list-style-type: none">1. 教育・保育について2. 安全管理および環境整備3. 保護者との連携4. 地域、社会との連携5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底
--

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1. 教育・保育について	<ul style="list-style-type: none">・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「キリスト教保育指針」に基づき、教職員一同が共通理解をして教育・保育に取り組んでいる。・子どもの尊厳を保持し、自己肯定感が育つような言葉がけを大切にし、一人ひとりの心が満たされ、心身ともに健やかに子どもの育ちを支えていくようにした。・月一回教育・保育の振り返り、学期末毎の反省会を持ち、園児の育ちを教職員間で情報共有する中で、問題提起などをして取り組み、翌月の指導計画の立案にも活かすようにした。・コロナ禍でも園児にとって何が大切かを教職員で考え、教職員全体で子どもの育ちを支えるよう教育・保育に携わった。
2. 安全管理および環境整備	<ul style="list-style-type: none">・年間の避難訓練を計画し、それに基づいて地震・火災を想定し月に一度実施している。年二回消防署に通報訓練、年一回消防署の方

	<p>が来園し避難・消火訓練の指導を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交通安全教室」を警察署の方の指導で、園児に横断歩道の安全確認・通行の仕方等を実際の信号機を使って教えてもらった。 ・園庭の遊具・各クラスの用具などは、毎日点検しており、年2回施設内外の安全点検を行っている。 ・今年度は、災害時における園児引き渡し訓練を行った。保護者の災害時の避難に対する意識の高さを感じた。引き渡し時の問題点や改善点を見直して行きたい。
<p>3. 保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と担任は、送迎時の短い時間でも子どもの様子を伝えるようにし、保護者の思いを受け止めるように心がけた。怪我の報告書には、保護者に伝えたときの保護者対応などをメモするようにしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため行事の見直しや中止することもあったが、行事の取り組みについては、保護者会の役員の方々の意見や要望を聞きながら行った。 ・保護者研修では、講演会をYouTubeで配信し保護者には好評であった。 ・掲示板を、玄関ホールに設置して情報伝達している。学年ごとの連絡事項などは、ホワイトボードを活用し掲示している。
<p>4. 地域・社会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、社会福祉協議会の主催で「ふれあいフェスティバル」があり5歳児が招待され地域の方たちの前で、ダンスと阿波おどりを披露した。大勢の人が見守る中、子供たちはのびのびと踊ることができた。たくさんの地域の方から拍手をもらい自信につながったことと思う。 ・就学に向けて、入学予定の小学校と連絡を取り合い、円滑な移行ができるよう努めた。小学校の先生と情報交換を行い連携を図った。 ・一時預かり事業（一般）では、県外の方の里帰り出産のための利用が2組あった。その後も県外の方からの問い合わせもあるので、丁寧な対応を心掛けていきたい。
<p>5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用について、3歳児以上は、保育者が熱中症等の体調管理をしながら基本着用とし、外遊びや運動遊び中は外すようにした。 ・毎日、各部屋の消毒作業後に新型コロナウイルス感染予防チェック表をつけている。各部屋のおもちゃ等も除菌庫を活用し消毒するようにした。

4. 保護者アンケート調査および総合的な評価結果

・2022年度も新型コロナウイルス感染症対応を徹底して行い、保護者にも注意喚起をはかるようにした。クラス休園となることもあったが、保護者の理解により行事も日程変更をしながらも行うことができた。保護者は、中止にならずに行事ができたことを喜んでくれた。

・「食育」の取り組みとして絵本の物語からメニューを考えてコロナ禍でも可能なクッキングを5歳児は体験した。メニューを何種類か考えてできるものは、調理の先生や担任が、子どもたちの目の前で作って、給食のデザートとして味わうことができた。

・5歳児は、「えいごであそぼう」のカリキュラムを行い子どもたちは、英語に親しみをもつことができ喜んで取り組んでいた。4歳児からもして欲しいという保護者の要望もあった。

・3.4.5歳児の、「サッカー教室」の回数を増やした。子どもたちは、ルールを守りながらの活動を楽しんでいた。保護者にもとても好評であった。

・園庭遊具に滑り台を設置することができ、園庭側通用門から園舎までの通路としてゴムチップ舗装をして、保護者からの要望に添うことができ喜んでいただけた。

・年度末に実施した保護者アンケート調査での結果から、「この園に入園して良かったと感じていますか？」の問いに（92.3%）の回答をご家庭からの評価を頂き、教職員の資質向上への意欲へとつながっている。保護者アンケートなどから今年度の課題を検討し全職員が共通理解をもって次年度に取り組んでいきたい。

5. 今後取り組むべき課題

教育・保育	・外遊びの環境設定や遊びの展開を充実させていきたい。 ・異年齢児交流をもっていろいろな活動をすすめたい。
安全管理マニュアルに基づき、防犯・防犯体制の確立	・職員各自が園内の避難経路や役割分担を再確認して、安全に対する意識の向上に努める。 ・今年度は、災害時における引き渡し訓練を行うことができた。そこから見えた問題点や改善点を見直していきたい。また、緊急時の対応を決めて緊急時の対応を決めておくことで事業の継続や早期の復旧につながるようBCP（事業継続計画）の見直しを継続して行う。

6. 苦情解決第三者委員の評価

・保護者アンケートで「この園に入園して良かったと感じていますか」の間で今年度も高い評価であり、保護者の方が、子どもを安心して預けることができていると感じる。

・保護者の意見を聞くときの、こちらの表情・雰囲気は保護者は感じ取るので丁寧に対応することが大切である。保護者の意見は、園を良くしようとして下さる意見と捉えて対応し、その後の対応についてもきちんと保護者に知らせることが大切。

・アンケートの回収率が、低いのももう少し回収率が多いほうが良いと思う。

7. 財務状況

・出納経理は、会計コンサルタントによる指導により適正に運営されている。
・保護者会会計は、保護者会監事に監査を受けて適正に処理している。